

トラスト通信

令和5年第1号



新春のご挨拶



NPO法人
海野宿トラスト
理事長 宮下知茂

元日 海野宿を東柵形から西柵形迄散歩しました。行き交う人々と新年の挨拶を交わしながら、一茶の句“夕過の 白の笹の 寒哉”を思い出し、宿場に伝わる風情を感じました。これは、宿場の環境を護ろうとする人々の成果でしょう。

どんど焼(とんど焼 左義長ともいわれる)は、現在 白鳥神社の境内で行われていますが、以前は、隣近所の人々が集まって宿場内のあちこちで行われていました。海野宿の繁栄は、農業(明治期からの養蚕業)による経済的基盤を持っていたことです。自然環境に左右される農業では、隣近所による情報交換が最も大事で必要なことでした。その情報交換の場の一つがどんど焼きだったと考えることができます。これからの地域の人々の交流の場をどう考えどう組み立てていけばよいのだろうか。

ある歳時記に“せり なずな ごぎょう はこべら母縮む”“ほどけのざすずなすずしろ父ちびる”の句が載っていました。妻は、“七草なずな唐土の鳥が日本の土地に渡らぬさきに・・・”とはやしながら七草を刻んでいましたが、この二句からリズムカルで包丁の音と合っているように思われ、古くから伝えられていることへの新たな試みを感じます。

母縮むは、闘病中の母を歌ったものであり、父ちびるとは？(答は、この通信のどこかに)

トラスト令和4年実績

1. イベントの実施としまして、4月は春爛漫祭り、9月はポルシェイベント、10月は天空の芸術祭を開催しました。
2. 一昨年の芸術祭での作品を「復興の鐘」としてお披露目しました。
3. トラストホームページやSNSを使って、情報発信を行いました。
4. 海野宿観光ガイドを昨年は約30件実施し、喜んでいただきました。
5. トラスト、資料館、玩具館にて、全国からの問い合わせにお答えしました。
6. 東御市からの指定管理として、資料館・玩具館の運営、駐車場の管理等実施。

保存会サポート

1. 海野宿の空き家に対して、貸してや買い手からの相談などを中心に活動支援をしました。
2. 重伝建のもと、海野宿の建物の修復に対する活動をしました。
3. 海野宿の振興と活性化・観光に対して「うんのわ」と連携して取り組みました。
4. 重伝建アンケート実施において、配布・回収・集計・報告会等の協力をしました。
5. 表の川の川さらい、植え込みの除草活動に協力しました

<答> ちびる=禿びる → すり減るということであり、年とともに小さくなる父の感じ。

海野宿「ひな祭り」のお知らせ

海野宿橋・第一駐車場が復旧し一年が経過しようとしています。コロナは依然終息していませんが、経済活動は徐々に増えて観光客も昨年より増えてきています。恒例の海野宿ひな祭りは、復興一年を祝しておひな様を飾るとともに、イベント日を設定して催し物を開催していきたいと計画しています。
※計画概要は以下の通りです。



開催期間 令和5年3月1日(水)～3月26日(日)
イベント日時 令和5年3月26日(日) 午前10時から午後3時まで

*期間中は海野宿街道沿いの家と公民館にひな人形を展示し、夜はライトアップします。
*イベント日は下記の開催を計画中です。

- ・来場者には抽選で特典を進呈します。
- ・着物で来場者には特典進呈します。
- ・地元のこんにゃく・甘酒・抹茶セット(野点)販売
- ・キッチンカー出店(2か所)
- ・海野宿グッズ販売

※特典は期間中使えるクーポン券を進呈

*「媒地蔵尊祭り」の実施

- ・ペアで参加者にゲームや特典あり。

※詳細は今後の実行委員会で計画し広報します。



*海野宿観光ガイドについて

●ガイド実績紹介

昨年春に海野宿橋、第一駐車場の復旧になり、コロナも下火になった期間もあり、観光も徐々に戻り観光ガイドの依頼も増えてきました。海野宿トラストによる観光ガイドも経験も積んで充実しています。大型バスがや個人客も増え、さらに要望は増えるものと見込んでいます。

- ガイドの募集 ガイド研修は随時行います。
どうぞご参加ください



*継続してトラスト会員を募集しています

NPO法人海野宿トラストは会員の会費で運営されています。趣旨に賛同され活動を支援して頂ける皆様の参加をお願い申し上げます。

会費	正会員	入会金	3,000円	年会費	6,000円
	賛助会員年間	個人	1口	3,000円	(入会金なし)
		事業者	1口	6,000円	//
		団体	1口	30,000円	//

会員申し込み先 海野宿トラスト事務所 0268-55-3694

Email : info@unnojuku-trust.com

ホームページ 「海野宿トラスト」を検索してください。